

オンライン開催会場から



赤いバラの花束はキューバ大使館から届きました。

岡野八代教授からのメッセージ

コロナ禍のなか、わたしたちは一人の命の重さと、その命を支え、永らえさせることにどれほどの労力と人手がいるかを学びました。

そして命を支える仕事がいかに尊く、多くの人の繋がりのなかで力を発揮することも経験してきました。

他方で、戦争は、一人一人では弱く、だからこそ互いに支えあい、ケアしながら発揮する力を根こそぎにしていまいます。ですので、戦争を前にわたしたちは無力なように考えがちです。

しかしそれは全く逆です。戦争こそが、わたしたちの力を否定するという意味で、無力な行為であり、命を救うこともできず、破壊を遂行するだけの無意味な行為にすぎません。

命をケアする、ケアの繋がりこそが社会で最も力強い営みであることを訴え、無力で無意味な戦争に全力で反対していきましょう。



特別決議 ロシアによるウクライナ侵略に抗議し撤退を求めます

ウクライナをめぐる情勢がきわめて緊迫し、武力行使に反対する声が高まる中、ロシアはウクライナへの侵略を開始しました。ウクライナへの攻撃は激しさを増し、子どもをはじめ多くの民間人が犠牲になっています。これは、ウクライナの主権を侵害し、市民のいのちとくらしを破壊し、国際的にも許されない行為であり、強く抗議するとともに直ちに撤退することを求めます。ウクライナをめぐる問題は、ロシアをはじめ各国間の外交努力によってあくまで平和的に解決されなければなりません。

プーチン大統領は攻撃前の演説で、ロシアが核保有大国であると強調し、核使用を前提とするかのような発言をしています。これは核兵器禁止条約が禁止した核兵器による威嚇であり、断じて許されません。ウクライナには多くの原発も存在し、武力行使が核による惨事を引き起こす可能性も懸念されます。

2022年国際女性デー中央大会は、ロシアによるウクライナ侵略に断固として反対し、平和的外交的解決を求めます。

ウクライナをはじめ世界の女性たちは「どの民族の人々も流血は望んでいない。平和的な解決を」と切実な声をあげています。

私たちは、平和を望む世界の人々と連帯し、この問題の、武力によらない平和的な解決を強く求めます。

2022年3月8日

2022年国際女性デー中央大会

2022年国際女性デー中央大会への海外メッセージ

国際民主婦人連盟（W I D F ・ 国際民婦連）

副会長 スケヴィ・コウコウマ(キプロス女性運動)

日本のみなさん、今年の国際女性デー中央大会のスローガンの「ジェンダー平等へ」は、世界の進歩勢力の共通課題です。同時に、世界の平和が再び脅かされている今日、とりわけ平和のためのたたかひの強化が求められています。



核兵器の問題は日本と世界の最重要課題です。核兵器禁止条約への日本の参加を求めるみなさんのたたかひに連帯を表明します。キプロスでも条約参加をめざすたたかひに取り組みます。

女性は日々の暮らしの主人公です。女性は、感染症や貧困から身を守り、労働条件改善、家族支援施策の充実、ジェンダーに基づく暴力やフェミサイド（女性殺し）の根絶、紛争下における女性の保護・支援などのために日々たたかっています。

今、私たちは皆、戦時下におかれたウクライナの女性、市民のことを考えています。私たち女性は、ウクライナへのロシアの軍事攻撃、市民の殺りくを強く糾弾します。市民は、世界平和と反戦を求める運動において常に大きな役割を果たしているのです。

この破壊的な戦争で第一に被害者となるのはウクライナおよびロシアの一般市民、労働者です。私たちは、平和を愛する世界の人々と共に、その人々に連帯します。私たちは、即時停戦し、交渉によって軍事行動および世界中を脅かしている危険な状況を終わらせることを求めます。

国際女性デーにあたり、私たちは、核による惨事から人類を救うためにたたかう日本の女性たちに心からの敬意を表明します。核兵器は人類に対する最大の脅威です。核兵器の使用が無数の一般市民を犠牲にし、悲惨な結果をもたらしたことを歴史は記録しています。

日本のみなさん、3・8国際女性デーは、世界の進歩的な女性を結びあわせ、そのたたかひに力を与えるための鎖です。世界の平和のために、核政策に反対するために、ジェンダー平等と公正な社会の実現のために、みなさん、手をつなぎましょう。

イラン民主女性組織 戦争と流血をやめよ、無実の人々を殺すな

ウクライナへのロシアの軍事攻撃、市民の殺りくを強く糾弾します。進歩勢力の懸念にもかかわらず米国、NATOの国際条約無視は繰り返され、今回はヨーロッパで起きています。しかし、これらは国際的な国境平和維持とかネオナチ殲滅という口実によるロシアの攻撃を正当化しません。

女性は世界平和や反戦運動でいつも重要な効果的な役割を果たします。女性は子どもたちが戦争の犠牲になることを望まず、自然資源が破壊されたり戦争で使われることを防ぎたいのです。

私たちは平和を愛する世界の人々と共に、この破壊的な戦争とその結果によって第一に犠牲となるウクライナとロシアの一般市民と労働者に連帯します。私たちは、交渉により軍事行動と世界への脅威をやめて直ちに停戦することを求めます。今、世界の進歩的な人々、平和を愛するすべての人々は、反戦の声をかつてなく高くあげなければなりません。

「戦争はもうやめよう」は女性運動の著名な指導者クララ・ツェトキンの、世界の人々への最後のメッセージです。そして今、3・8国際女性デーを前に、私たちはそのメッセージを、平和を愛する人々と声をそろえて呼びかけますー「戦争はもうやめよう」

レバノン女性の人権を求める会

ジェンダー平等のためにたたかう日本の女性みなさんに、連帯の挨拶を送ります。2022年国際女性デー中央大会の成功と、みなさんのたたかい、とりわけ平和憲法を守るたたかいが成果を収めることを願っています。



(会長 マリ・ナシフ・デブス)

イスラエル民主女性運動

ジェンダー平等と核兵器廃絶のためにたたかう日本の女性たちに、心からの連帯を表明します。核兵器は国際平和を脅かし、地球上の人々、とくに真っ先に戦争の犠牲になる女性と子どもを危険にさらすものです。(事務局長 ファシア・サギール)

ギリシャ女性連合

私たちのスローガンは「女性の平等と人々の解放のためのたたかいが、搾取、戦争、暴力から私たちを守る」です。

科学技術の発展した21世紀の今日、誰もが、権利を保障され、定時就業、母性保護施策、暮らしていける賃金と年金の保障された安定した仕事をもてるはずです。

感染症対応病院の不足、何万もの死者、病院や保健所の資金不足、スタッフ不足、患者へのケア不足は許されません。

生活・労働条件が悪化すれば女性は暴力や人間関係による被害を受けます。暴力の撤廃により、女性は経済的にも精神的にも感情的にも解放されるのです。

ウクライナへのロシアの軍事侵攻を糾弾する

ギリシャ女性連合はウクライナへのロシアの軍事侵攻・侵略を糾弾します。これは典型的な戦争の発端に他なりません。私たちはウクライナ、ロシアをはじめ、その地域の人々への連帯を表明します。彼らは尊厳と主権を保障されて故郷で生きていく権利をもっています。

私たちは女性たちに対し、人々の命を奪い、貧困、難民を生み出す戦争に反対して立ち上がるよう呼びかけます。

私たちは、ギリシャを米国とNATOの巨大な軍事基地に変えてしまったギリシャ政権を糾弾します。ステファノピキオ基地を、ウクライナにおけるNATOのヘリコプター作戦計画に使用することを非難します。

今や、軍事同盟からの離脱を求めるたたかいが、私たちの生活と子どもたちの未来にとって重要であることは明らかです。以下を求めます。

・ギリシャはウクライナにおける戦争から直ちに撤退すること
・米国、NATOによるロシア包囲作戦へのギリシャの参加を止めること
・ギリシャ・米国基地協定を批准しないこと
・ウクライナでの作戦その他の軍事作戦にギリシャ軍を派遣しないこと
・ギリシャはNATOから脱退すること。

祝 国際女性デー2022！

キューバ女性連合 イタリア女性の会

全国女性の会（英国）ポルトガル民主女性運動

ベトナム女性同盟 ガブリエラ女性連合（フィリピン）



3.18 ロシア政府に対し

「NO WAR！ ロシアはウクライナから即時撤退せよ！9条改憲は許さない！」

ロシア大使館前抗議行動

